



学校だより

1月号



令和5年1月11日
横浜市立能見台南小学校

← 学校ホームページ
QRコード

登下校の時間

校長 榊原 一紀

新年あけましておめでとうございます。令和5年が始まりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、清々しい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。今年もよろしくお願いいたします。

昨年12月には、地域学校協働本部の取組である読み聞かせがありました。中休みの時間に放課後キッズクラブの教室を借りて、今回応募して下さったボランティアの方の読み聞かせを児童は楽しそうに聞いていました。今回は、保護者の方が中心だったのですが、地域の方の応募もあると聞いています。今後の活動が楽しみです。その日は、体育館では児童運営委員会による集会が行われていました。また、校庭では最近配られたドッジビーを使ってゲームを楽しんでいる児童がいました。様々な場所で生き生きと過ごしている様子を見て、休み時間に楽しめる活動がたくさんある能見台南小学校の児童は幸せだと感じました。

近年テレワークが進められたことによるストレスとして、「オンとオフの切り替えが難しい」や「仲間と雑談できない」などがあると聞き、児童の登下校にも同じことが言えるのではないかと感じました。学校の近くに住んでいる保護者の方から「子どもが、帰ってきてランドセルを置いて、そのまま友達の家の方まで一緒に下校している」という話を聞いたことがあります。また、ある学校で「車で子どもを連れてきたのだけれどもどうしても下りない」と連絡が入り、専任が迎えに行くということがありました。そのようなことが続いたので、「お家の方と一緒に歩いて登校してきたら。」とアドバイスをしたところ、少しずつ変化が見られたことがありました。私も子どものころ、学校で怒られた時は下校に時間がかかっていたことを思い出します。無意識の中でオンとオフを切り替えていたり、リセットしていたりしたのかもしれませんが。登下校の数十分の時間ですが、児童にとって重要な時間になっていると感じた出来事でした。

昨年11月のニュースで、登校時に車から降りて横断歩道を渡ろうとしたところ、後続の車と接触し重傷を負ったという事故を見ました。大変残念に思います。本校は、登下校時の車の利用は大変少ないですが、事情があって車を利用する場合は、ぜひ、悲しい事故が起きないように安全に気をつけていただきたいと思います。